

旬 現 場

な

漁業士の方々が伊勢湾の環境を学ぶ

～5県の漁業士が9/2(水)に伊勢湾水理環境実験センターを見学しました～

1. 概 要

9/2(水)千葉県から三重県までの沿岸5県の漁業士(※1)の方々が、伊勢湾水理環境実験センターを見学しました。

本見学会は、「関東・東海ブロック漁業士研修会」の研修見学会として開催されたもので、5県の漁業士等25名が当センターを訪れました。

見学者は、はじめに中部地方整備局の事業概要や伊勢湾の潮流についての講義を受けたあと、伊勢湾環境水槽(伊勢湾を1/2000に縮尺した実験用模型)や波浪平面水槽(防波堤等の安定性実験を行う施設)を見学したり、液状化模型や津波模型での実験を体験したりして、伊勢湾の環境や港湾における防災についての知見を深められていました。

また、見学者からは

○国土交通省の公開している海洋波浪情報(※2)を漁に出る際に活用している

○台風等の出水後、流木等の浮遊ゴミがどこに漂流しているのか分かるシステムを開発して欲しい

などの感想がありました。

なお、名古屋港湾空港技術調査事務所では、同センターの施設見学を随時受け付けております。

■施設見学のお問い合わせ■

名古屋港湾空港技術調査事務所 総務課 TEL 052-612-9981

<http://www.meigi.pa.cbr.mlit.go.jp/>

※1 漁業士

漁業経営、人格、見識などが優れ、若い漁業者の育成に指導的な役割を果たしている漁業者で、漁業協同組合長の推薦により各道府県知事に認定された者

※2 全国港湾海洋波浪情報網(ナウファス:NOWPHAS)

国土交通省港湾局、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人 港湾空港技術研究所の相互協力のもとに構築・運営されている我が国沿岸の波浪情報網で、2015年3月現在、78観測地点において、波浪の定常観測を実施している

<http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/>



2. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス
3. 問い合わせ先 国土交通省 中部地方整備局
名古屋港湾空港技術調査事務所（伊勢湾水理環境実験センター）
総務課 近藤（こんどう）、小林（こばやし）
TEL 052-612-9981 FAX 052-612-9452

見学の様子



座学の様子



伊勢湾環境水槽における疑似津波実験



波浪平面水槽における防波堤実験



防波堤による津波高低減実験